

## 平成23年第1回砂川市議会定例会

平成23年3月14日（月曜日）第5号

### ○議事日程

開議宣告

日程追加 市長行政報告

- 日程第 1 議案第14号 砂川市専用水道施設条例を廃止する条例の制定について  
議案第17号 砂川市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第20号 砂川市水道料金等助成条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第24号 砂川市と中空知広域水道企業団における下水道使用料の算定に関する事務等の委託に関する規約の変更について  
議案第16号 砂川市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第18号 砂川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第19号 砂川市交通安全対策会議に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第21号 砂川市と歌志内市における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について  
議案第22号 砂川市と奈井江町における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について  
議案第23号 砂川市と上砂川町における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について  
議案第25号 市道路線の変更について  
議案第 8号 平成23年度砂川市一般会計予算  
議案第 9号 平成23年度砂川市国民健康保険特別会計予算  
議案第10号 平成23年度砂川市下水道事業特別会計予算  
議案第11号 平成23年度砂川市介護保険特別会計予算  
議案第12号 平成23年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第13号 平成23年度砂川市病院事業会計予算  
[第2予算審査特別委員会]

散会宣告

### ○本日の会議に付した事件

(日程追加)

市長行政報告

- 日程第 1 議案第 1 4 号 砂川市専用水道施設条例を廃止する条例の制定について  
議案第 1 7 号 砂川市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第 2 0 号 砂川市水道料金等助成条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第 2 4 号 砂川市と中空知広域水道企業団における下水道使用料の算定に関する事務等の委託に関する規約の変更について  
議案第 1 6 号 砂川市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第 1 8 号 砂川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第 1 9 号 砂川市交通安全対策会議に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第 2 1 号 砂川市と歌志内市における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について  
議案第 2 2 号 砂川市と奈井江町における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について  
議案第 2 3 号 砂川市と上砂川町における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について  
議案第 2 5 号 市道路線の変更について  
議案第 8 号 平成 2 3 年度砂川市一般会計予算  
議案第 9 号 平成 2 3 年度砂川市国民健康保険特別会計予算  
議案第 1 0 号 平成 2 3 年度砂川市下水道事業特別会計予算  
議案第 1 1 号 平成 2 3 年度砂川市介護保険特別会計予算  
議案第 1 2 号 平成 2 3 年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第 1 3 号 平成 2 3 年度砂川市病院事業会計予算  
[第 2 予算審査特別委員会]

○出席議員 (1 3 名)

議 長 北 谷 文 夫 君  
議 員 矢 野 裕 司 君  
飯 澤 明 彦 君  
吉 浦 やす子 君  
尾 崎 静 夫 君

副議長 東 英 男 君  
議 員 増 田 吉 章 君  
中 江 清 美 君  
一ノ瀬 弘 昭 君  
土 田 政 己 君

辻 勲 君  
沢 田 広 志 君

小 黒 弘 君

○欠席議員（0名）

○ 議 会 出 席 者 報 告 ○

1. 本議会に説明のため出席を求めた者は次のとおりである。

砂 川 市 長	菊 谷 勝 利
砂川市教育委員会委員長	柴 田 良 一
砂 川 市 監 査 委 員	奥 山 昭
砂川市選挙管理委員会委員長	曾 我 治 彦
砂川市農業委員会会長	奥 山 俊 二

2. 砂川市長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

副 市 長	小 原 幸 二
市 立 病 院 長	小 熊 豊
総 務 部 長 兼 会 計 管 理 者	角 丸 誠 一
市 民 部 長	井 上 克 也
経 済 部 長	栗 井 久 司
建 設 部 長	西 野 孝 行
建 設 部 技 監	金 田 芳 一
建 設 部 審 議 監	山 梨 政 己
市 立 病 院 事 務 局 長	小 俣 憲 治
市 立 病 院 事 務 局 審 議 監	佐 藤 進
総 務 課 長	古 木 信 繁
広 報 広 聴 課 長	湯 浅 克 己

3. 砂川市教育委員会委員長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

教 育 長	四 反 田 孝 治
教 育 次 長	森 下 敏 彦

4. 砂川市監査委員の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

監 査 事 務 局 局 長	中 出 利 明
---------------	---------

5. 砂川市選挙管理委員会委員長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	角 丸 誠 一
-----------------------	---------

6. 砂川市農業委員会会長の委任を受け説明のため出席する者は次のとおりである。

農 業 委 員 会 事 務 局 長	栗 井 久 司
-------------------	---------

7. 本議会の事務に従事する者は次のとおりである。

事	務	局	長	河	端	一	寿
事	務	局	次	長	加	茂	谷
庶	務	係	長	佐	々	木	純
議	事	係	長	石	川	早	苗

開議 午前10時01分

◎開議宣告

○議長 北谷文夫君 おはようございます。先週3月11日午後2時46分ころ発生いたしました地震により、延会いたしましたところであります。

なお、東北関東大震災の被災者のご家族に対し心よりお見舞い申し上げたいと思います。本日の会議を開きます。

◎日程の追加

○議長 北谷文夫君 ここで市長から行政報告を求められておりますので、ここで日程に追加し、報告を受けたいと思います。このことにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、日程に追加することに決定いたしました。

◎追加日程第1 市長行政報告

○議長 北谷文夫君 市長。

○市長 菊谷勝利君（登壇） おはようございます。ただいま議長からお話ありましたように、東北地方の太平洋沖地震に対応した経過についてお話を申し上げたいと思います。

3月の11日の午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とするマグニチュード9の地震は、国内で発生した地震の中では史上最大で、宮城県北部で震度7を記録し、地震等による建物、道路等の崩壊のほか、大津波、火災も発生し、死者数は警察庁まとめで1,217人、13日午後7時30分ころ現在でありますけれども、及び大津波で壊滅的な被害を受けた太平洋沿岸は、状況の把握が困難になっており、死者、行方不明者数は今後大幅にふえるの見込まれるなど、東北、関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。痛ましい犠牲となられた方々に対して謹んで哀悼の意を表するとともに、被災者の皆さんに心からお見舞いを申し上げる次第であります。本市といたしましては、被災された方々の一日も早い復興を願っております。

経過について報告をいたします。砂川市は、午後2時50分に震度3、午後3時11分、午後3時28分にそれぞれ震度2を記録し、その後の地震観測がありませんが、地震発生直後に市内の公共施設などの状況を確認するとともに、情報を収集し、警戒に当たり警察、消防署、自衛隊との連絡体制の確認などに備えを行ってまいりました。今後の地震による市民、建物、公共施設などの市内における被害は現在のところ確認しておりませんが、引き続き大きな地震の発生に備えて警戒をしてまいります。

また、被災地に対する支援であります。厚生労働省から市立病院に医療災害支援の要請があり、急遽市立病院の医師2名、看護師1名、事務職1名の計4名が11日現地入りし、患者の初期対応、搬送先調整の任務を行い、12日に帰砂したところでありますが、

今後の派遣要請の対応の検討、被災地患者の受け入れ体制の整備を図っているところであります。砂川地区広域消防組合は、緊急消防援助隊より派遣要請に備えて隊員3名が待機しており、出発に備えているところであります。砂川市には援助支援要請などはまだありませんが、今後本市としての義援金の送金や広く市民からの義援金募集の取り組み、また職員の派遣要請があれば、検討してまいりたいと考えておりますので、ご報告を申し上げます。

○議長 北谷文夫君 議会運営委員会開催のため、10時40分まで休憩いたします。

休憩 午前10時05分

再開 午前10時39分

○議長 北谷文夫君 休憩中の本会議を開きます。

議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

直ちに議事に入ります。

- ◎日程第1 議案第14号 砂川市専用水道施設条例を廃止する条例の制定について
- 議案第17号 砂川市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 砂川市水道料金等助成条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第24号 砂川市と中空知広域水道企業団における下水道使用料の算定に関する事務等の委託に関する規約の変更について
- 議案第16号 砂川市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 砂川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 砂川市交通安全対策会議に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 砂川市と歌志内市における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について
- 議案第22号 砂川市と奈井江町における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について
- 議案第23号 砂川市と上砂川町における旅券交付申請及び交付に関する事務の委託に関する規約の制定について
- 議案第25号 市道路線の変更について

議案第 8号 平成23年度砂川市一般会計予算

議案第 9号 平成23年度砂川市国民健康保険特別会計予算

議案第10号 平成23年度砂川市下水道事業特別会計予算

議案第11号 平成23年度砂川市介護保険特別会計予算

議案第12号 平成23年度砂川市後期高齢者医療特別会計予算

議案第13号 平成23年度砂川市病院事業会計予算

○議長 北谷文夫君 日程第1、3月11日に引き続き議案第13号に対する総括質疑を続けます。

小黒弘議員の1回目の総括質疑に対する答弁を求めます。

市立病院事務局審議監。

○市立病院事務局審議監 佐藤 進君 (登壇) 前回答弁が途中となりましたので、私の答弁、最初からご答弁申し上げます。

まず、改築に係る起債償還についての元金償還額の推移についてであります。改築事業に係る企業債の借入れは、まだ確定していない旧病院解体工事や立体駐車場工事の借入額を含めて約172億円の借入れを計画していたところでございますが、現時点においての医療機器購入では若干減少したところであります。企業債の償還内容としましては、改築工事に関するものは病院事業債、過疎対策事業債ともに5年据え置き、30年年賦償還で、医療機器に関するものは病院事業債で1年据え置き、5年年賦償還、住民参加型市場公募債は5年据え置き、満期一括償還と過疎対策事業債で3年据え置き、12年年賦償還となっております。元金償還の推移であります。平成23年度は平成22年度借入れの医療機器分の病院事業債につきまして借入れ時期が22年10月であったことから、23年度下期分から償還が開始されるため、平成23年度は半年賦分の元金償還額2億7,380万7,000円となります。さらに、従前の借入れに係る元金償還を含め、平成23年度は4億4,482万8,000円を予定しております。また、平成27年度には元金償還額が約9億4,500万円で償還額のピークとなりますが、翌年度からは約7億円前後の元金償還となっていくところであります。なお、これら元金償還分及び利息分に対しては交付税の算定が予定されております。

次に、現金預金が減少した理由についてご答弁申し上げます。平成22年度決算見込みにおきましては、収益的収支で約16億1,000万円の純損失を見込んでいた中、現金支出を伴わない減価償却費及び旧病院除却費が約13億9,000万円となることから、残りの約2億2,000万円が現金減少見込額となるところであります。なお、この約2億2,000万円は、主に新病院に係る消耗備品費及び病院移転費等となっております。また、資本的収支で資本的収入から資本的支出を差し引きますと約10億5,000万円の不足となりますが、これは主に起債の対象とならない資産購入費約3億2,000万円及び企業債元金償還金約7億6,000万円のうち繰上償還分約4億1,000万円とな

っております。このことから、収益的収支の現金不足額約2億2,000万円に資本的収支の現金不足額約10億5,000万円を加算した約12億7,000万円が現金の減少額と見込んだところであります。

次に、平成23年度当初予算におきましては、収益的収支で約19億6,000万円の純損失を見込んでおります。このうち現金を伴わない減価償却費、旧病院除却費が約19億7,000万円であり、この差の約1,000万円が現金残額の見込みとなっております。また、資本的収支で資本的収入から資本的支出を差し引きますと約4億6,000万円の不足額となりますが、これは主に企業債の元金償還によるものであります。このことから、収益的収支の現金残額約1,000万円と資本的収支の現金不足額約4億6,000万円の差し引き、約4億5,000万円が現金の減少額と見込んだところであります。

以上が平成21年度決算における現金預金額約21億6,000万円が23年度末には約4億4,000万円と見込んだ理由でございます。

次に、剰余金が減少している理由についてご答弁申し上げます。剰余金は、補助金や寄附金といった資本的収支から生ずる資本剰余金と毎事業年度の純利益から成る利益剰余金に区分されます。剰余金合計の急激な減少の理由につきましては、平成22年度の収益的収支において約16億1,000万円の純損失が計上されること、また平成23年度の収益的支出において約19億5,000万円の純損失が計上された欠損金が生ずることから、剰余金合計が約7億円に減少するものであります。

次に、開院後の維持管理費、光熱水費、燃料費は旧病院として、比較してどのように推移するかについてご答弁申し上げます。新本館は、延べ床面積約3万5,300平方メートルと旧病院の約1.6倍の面積を有し、照明、空調ほか動力機器の充実により電力使用量及び重油消費量ともに増加しております。ただし、空調設備においては、重油や電気の使用量を低減する方策としまして、暖房や冷房を全館一律に調整するのではなく、例えば北側の部屋と南側の部屋、また外側の部屋と施設中央部の部屋とを別々の機器調整システムとしたり、利用時間が違う区域ごとに運転時間や温度設定を変えることができるようにするなど、無駄がなくきめ細かい運転を可能にしております。開院後3カ月間の電力使用量は199万152キロワットであり、前年同月間が94万2,058キロワットであったことから約2.1倍の増加となっておりますが、これはヘリポートなどの融雪に電力を使用していることなども要因と考えられます。次に、使用、失礼いたしました。次に、重油消費量は、開院後3カ月間で48万163リットルであり、前年同月間が28万6,419リットルであったことから約1.7倍の増加となっておりますが、暖房面積及び空調面積がふえたことが主たる要因と考えられます。こうしたことをもとに平成23年度の予算を計上させていただいておりますが、今後におきましても節電など効率的な維持管理に努め、経常経費の削減に努めてまいります。

○議長 北谷文夫君 小黒弘議員。

○小黒 弘議員 病院の関係は、新病棟もできて、何とかしてもらわなければならないのですけれども、実はその新しい病院がこれからどういうふうな経営、運営になっていくのかというシミュレーションを見るときに、まず外から見れるものというのは、もう何年前の病院を建てるときの基本計画にそのシミュレーションがあるだけであって、それ以外には全く外から見れるものはないのです。それで、そのときのシミュレーションをちょっと引っ張り出して見てきたのですけれども、とりあえず特殊病床をふやして重篤の患者を受け入れる、重篤の患者は1人当たりの医療費の単価が高いので、経営的に何とかなって行くのではないかと、そういう特色を持っている病院、それからほとんど病床利用率は80%の上のほうですね、86%とか88%でシミュレーションできていて、それでも借金返しが厳しいので、途中相当厳しくなるのだけれども、平成27年、28年ごろから黒字に転換していくというのがこれまでのシミュレーションです。

それと表を全く同じように比較できるかどうかというのは別なのですが、私は私なりの現金の移り変わりというのを調べてみたのですけれども、つまり病院の会計というのは減価償却費という妙な項目があるのです。これ実際は民間であればその分が節税になったりとかということはあるのですけれども、公立病院は税金を払いませんので、この減価償却費をどう見るかというのが大きなことになるのですけれども、病院経営として考えて、さっきのキャッシュフロー、現金の流れということを考えていけば、その減価償却をしない前の要するに医業収入と医業支出の状況が相当悪くなっているなというふうに感じて今いるのですけれども、それぞれの事情はあるのかもしれないのですけれども、平成20年度では約6億円の赤字になっていて、平成21年度は少し盛り返したけれども、赤字が1億4,000万、平成22年度は5億、それから今回の平成23年度の予算ではもう既に最初から6億3,000万もの医業収支のいわゆる赤字が見込まれてしまっているのです。先ほど現金が、いずれにしても砂川の市立病院というのは現金が一番多いときに三十何億、それから最近、先ほどの21年度でも21億か2億の現金を持っているという病院は、まず全国的にも珍しい病院で、大変な経営、いい経営をしてきたのだというお手本になるような病院だったので、まさかこんなに急激に現金が落ちていくのかなというのは考えていなかったのです。いざとなったときに現金がどれだけあるかというのは、家庭と同じで貯金がたくさんあれば、やっぱりゆとりもあるしということになるのですけれども、まだ開院して間もないこのときに現金がここまで落ちるのかということなのですけれども、普通こういうものをやるとき自治体、建築や何かをやるときにはほとんど借金が借りられて、そしてそれを長期間で返済するから返済計画がちゃんとできてという形になると思うのですけれども、とにかく23年度においても減価償却を除いた医業収入、支出が6億3,000万もの赤字になってしまうということがどんな理由でこういうふうになってしまうのかなというふうには私は思っているのです。

今までのどのシミュレーションを見ても、まずは医業収入と医業支出の減価償却を除い

た分の赤字幅をどれだけ縮小するかということに勝負をかけていかないと、なかなか難しいだろうなというふうに思うのです。というのは、減価償却はそのまんま利益の中で差し引くことができれば、現金としては残っていくのだろうというふうに思うのですけれども、そのもともとのところが赤字になっていってしまうと、減価償却費がそのまんま赤字に加わっていってしまうということにもなるわけで、つまり資本的収支の留保資金がどんどん減っていってしまうということにもつながっていくというふうに思っているのですけれども、細かいことをいろいろ聞いてもしょうがないのですが、これ全体的にこの経営で安心をしていけるのかどうかということなのです。余りにもちょっと予想よりも早くいろいろな状況、悪い状況が生まれてきてしまっているのではないかなというふうに思っているのです。病院の経営の場合は、収入をふやすには患者さんをふやすのか、あるいは1人当たりの診療単価を高くして収入をふやして行って、そして支出を抑えるというのがもうこれ単純な基本だと思うのですけれども、それがどうも計画どおりというか、うまくいっているのかなというふうに思うところがまず今回お伺いしたいところで、病院としては今は一番苦しいときなので、いや、今後は順調に推移していくし、大丈夫なのだと言ってもらえれば、僕はもうこれ以上質問することは何もないのですけれども、どうも自分が予測した流れよりもちょっとはるかに経営状況が悪いなというふうに思ったりもしているものから、その辺のところをちょっと大まかめでお伺いするのですけれども、2回目にお伺いしたいと思います。

○議長 北谷文夫君 市立病院事務局審議監。

○市立病院事務局審議監 佐藤 進君 私のほうから、23年度減価償却前で約6億の不足といえますか、そういうご質問がございました。それで、実は先ほどもご答弁させていただきましても、23年度の収益的収支、これ当年度純損益見ますと約19億ぐらいの赤字になっております。このうち減価償却費が約13億、そしてもう一点は病院除却費、旧病院除却費、これが実は6億あります。したがって、この旧病院除却費も減価償却と同様に現金を伴わない費用になってきますので、したがってこれら減価償却費及び病院除却費を除けば、先ほどもご説明させていただきましたけれども、約1,000万円ぐらいの現金が残るという状況になっておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○議長 北谷文夫君 市立病院事務局長。

○市立病院事務局長 小俣憲治君 今後の病院の経営というような状況の質問でございます。議員さんも各資料でござんになっているとおり、非常に病院の経営につきましては基本的には医業収支でバランスがとれた運営が望ましいということでございます。ただ、経営上、今回新築、いろいろあります、新築ありまして、それ以外でも経費かかっておりますけれども、キャッシュフローの問題もございます。そうなれば、基本的には収入をふやすことが大前提だというふうなことだというふうに考えて、ただ計画、基本設計、それから改革プラン、それぞれの経過追っていきますと、入院の稼働率の問題も当然ございます

し、患者数全体がどうなるのかなということも一つの課題でございます。当然入院に關しましては、当初の稼働率より多少下がっておりまして、その反面、逆に言えば、DPC導入云々でそれぞれ収入は出来高と比較して6%上げましたけれども、さらに22年の診療報酬の改定では約3%の見込みを23年度に一応それを含めて計上しておりますが、いずれにしても収入がふえるということをお前提に今後の運営をしていかなければならないというふうに考えて、ただその中で私どもは大きな収入源であります入院についても、現在予算では70%台ということをお計画しておりますけれども、実は最近の傾向では1月、2月、3月と80%を超える日もございますし、現状先週につきましても約80%を超えている状況の一般稼働率がございます。そういうものを含めて今後の体制上はやはり入院の稼働率、いわゆる患者数をふやすということに前提で考えておりますので、それらを踏まえて何とか経営については適正な経営をやっていきたいというふうに思いますし、今の医療情勢、近隣の情勢を考えますと、当然として患者数もふえるということも予想しておりますので、それらが将来的な運営につながっていくような考えも持っておりますので、そういった状況でまずご理解願いたいと思います。

○議長 北谷文夫君 黒弘議員。

○黒 弘議員 いつも同じような答弁になってしまうので、とりあえず今後の推移を見ていかなければいけないのかなというふうには思うのですが、例えば今回も病床利用率73.3%、これから病床が少なくなると見積もっても74%、改革プランからしても10%下がっているというようなこと、でもそれと同時にちょっと調べていくと、今の看護師さんの数って准看さん含めても380人ぐらいですか、この予算書見ると。シミュレーションではもう460、70という数字なのです、看護師さんの数が。つまりベッドがいっぱい埋まっていけば看護師さんをもっとふやさなければならないということなのか、それによってどう収益が変わっていくのか、看護師さんをふやせば人件費がふえるのであるからということで考えていくと、今ぐらいのが実はちょうどいい病床利用率なのかどうかということなのですけれども、この看護師さんの数と医者の数とを考えていくと。でも、そうになってしまうと、七十数%だと100床以上の病床がいつも余っているという状況にもなるわけで、この辺のところをこれから大きな借金を返していかなければならないときにだれが一体どうシミュレーションして、どこをどう補強して、どこをどう強化していけばいいのかということがどなたかがしっかりとわかっているのかどうかということが一番の問題かなというふうに思うのです。たしか昨年度に医療コンサルの予算をとったと思うのですが、もちろんもう年度も終わるところなのですが、ほとんどどういう医療コンサルがどういう提案書なり報告書なりを出されてきたのかということすらも僕らは全くわかっていませんし、たしか3,000万ほどの委託料だったとは思いますが、普通であれば3,000万の事業をやったものであれば、何らかの報告というのが議会にあっても、その年度内にあってもおかしくはないのではないかと思いますけれども、今後

もその医療コンサルという方をそのままずっとやっていくのかどうかというのはわかりませんが、どうもこのまんまではしっかりと見通しを持ちながら病院経営をどうやっていけるのかというところが見えてこないところが一番不安な点なのですけれども、そこら辺のところ、医療コンサルの関係、あるいは今後の病院経営に向かったのシミュレーション、あるいは事業計画等というのはこれから私たちもまた選挙があるので、新しい議会等でも示されていくのかどうかということなのです。これまでは過疎債、あるいは病院事業債の元利についての償還計画というのは出していただきましたけれども、病院の経営そのものに対して借金返しの、それからピークがどの辺にあってどうなっていくとかというこの計画書みたいなものは一つも出ていないので、何とかその点を早い時期に示していただきながら、市民も含めていい病院が建つと、ちょっと厳しいときはあるけれども、何年かたてばいい経営になっていくのだというようなことが示されるような、安心できるような資料をぜひつくっていただければというふうに思うのですけれども、何点かお伺いしましたが、3回目の最後の質問として、そこら辺の点をお伺いしたいと思います。

○議長 北谷文夫君 市立病院事務局長。

○市立病院事務局長 小俣憲治君 現状は、先ほど入院関係だとか診療報酬の関係一部触れましたけれども、そういった分析を継続してやってきました。ただ、今回のDPC導入も含めて診療のあり方だとか、そういうものについていわゆるデータを分析しながらやってきたわけですが、今年度、今年に入りまして経営コンサル会社と一応契約いたしました。それについては、中身は何かということになりますと、当然今後の経営分析のための、経営分析、分析、さらに指導ということもあわせてやっていくというような考えでございます。中身的には、いわゆる診療関係の完璧な分析、いわゆるこれについては平均在院日数だとか稼働率のことも含めて今後どうあるべきかという分析した中での今度の指導も含めてやっていくという考えでございますし、さらに急性期病院でございますから、当然収入上げるためには手術件数の増だとか、そういうことも必要になってきます。そうなってくれば、当然そういった意味の手術の状況がどうであるか、今後どうしたらいいのかと、そういうことも含めて分析していきたいというふうに考えておりますし、さらに全体的には職員数も含めて、それから今後のこの自治体における地域的な医療を展開する上では何をやれば収益が上がるか、どうすれば質が上がるかということも踏まえて、それぞれコンサルと一緒に協議しながら病院の運営に努めてまいりたいというふうに考えておりますし、決して私たちはこれら今までやってきた以上のことをさらにやって何とか病院の経営を含めた体制を維持していきたいというふうに考えておりますので、何らかの形でこういう情報があればまた報告したいというふうにも考えておりますので、ご理解賜りたいというふうに思います。

○議長 北谷文夫君 市長。

○市長 菊谷勝利君 (登壇) 今病院の関係の細かい数字を持っていないのですけれども、

当時シミュレーション描いた際に僕なりに、前に小黒議員さんにも病院は大変な経営状態になるとお話し申し上げて、そのときに私なりに考えたのは、平成22年から7年、6年から7年、3条で毎年10億近い赤字になるであろうと。そして、当時私50億前後の赤字になるというふうに思ったのが、ところが今の病院の利用率を考えると、これは70億ぐらいになるのではないだろうか、そして7年後に病院の黒字になるような計算上なりまして、それは1億程度しか黒字にならない、そうすると70億の赤字を解消するのに70年かかるのではないか、そのときはもう既に病院は新しい病院の改築をしていかなければならないから、本来は減価償却の引当金が本来予算上で預金をしているのなら別として、何も無いと同じなわけです。自分をタコの足と食べているようなものですから、そういうことでキャッシュフローから見ると大変な状況になるなど。

同時にもう一つ大変なのは、粗収入が少なくなっているために人件費が6割ぐらいになっているということなの。それでは、これから人件費を削減できるような条件になるかということとは不可能に近いだろう。そうすると、人件費を50なり45に下げるということは収入を上げざるを得なければならない、要するに収入をどうやって上げていくのだということを僕は大変だと。したがって、私は、病院の院長先生にもとにかく器械一つ買うにしても減価償却、いわば5年でどの程度のこの1台の器械買うことによって収入上げられるの、費用対効果でと言うと、市長、市長、病院の機能というのは決して財政の黒字から機能がよくなるのではなくて、やっぱりいわば労働のマンパワーがどうなっている、あるいは器械はどうなっている、そういう全体的なことから病院の、砂川市立病院の機能がいいよということになるのであって、市長の黒字なら機能よくなるのではないということでもちょっと、いろいろ考え方によって違いますけれども、いずれにしても今言えることは、今の私の考え方でやっぱり70年近い返済にかかるということになると、これは大変なことになるので、やっぱり病院挙げてもう一回、特に副市長のほうは数字は明るいので、そのコンサルに頼んだのも早くしないと、2,000万なりの予算を組んでいるのだから、どんな結果を見るのか、それは議員の皆さんも知りたいのだよ、どこに目を当てるのだと、したがってそういう意味で早くしなさいということなのだけれども、おくれて大変申しわけないと思うのですけれども、これからそういうようないろんなそういう病院のありようというものはみんなでお医者さん方も事務職員も、もちろん市長もそうですけれども、考えていかなければ大変な状態になるなど。したがって、病院は建てたけれども、病棟閉鎖になるようでは何のためにつくったのだと。あちこちで新築した場合閉鎖している状況にあるものですから、そういう意味で事務局長含めて十分検討しなければならないと。私は、建ててすぐいなくなるので、申しわけないのですけれども、ただだれの責任ではなくて、みんなで考えようと、議員の皆さんにもご協力いただきたいというふうに思うのでありますけれども、とにかくどうやって収入を上げるということは一に病床率を上げなければならない、今おっしゃるように、3割遊んでいるようでは困るのです、はっきり言えば。

看護婦さんだつて7対1看護のために雇っているのは、その300の、400のうちの3割分は遊ぶのではこれ困るのだと、極論言えば。そういうことで、これは病院を挙げて、みんなでもう一度よくこの病院のありようというのを検討して、とにかく収入を上げること、無駄遣いをやめて健全財政あるくということで頑張りますので、ご支援のほどお願いしたいと思います。

○議長 北谷文夫君 他にご発言ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これで議案第13号の総括質疑を終わります。

以上で各議案に対する総括質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております17議案は、議長を除く議員全員で構成する第2予算審査特別委員会を設置し、これに付託して会期中審査を行うことにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、そのように決定をいたしました。

#### ◎休会の件について

○議長 北谷文夫君 お諮りいたします。

第2予算審査特別委員会における審査が終了するまで本会議を休会することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、これで本会議を休会いたします。

#### ◎散会宣告

○議長 北谷文夫君 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれで散会といたします。

ご苦労さまでした。

散会 午前11時12分